

第8回「ハイ・サービス日本300選」受賞企業・団体発表について
～1月26日(火)11:00より表彰式を開催～

<第8回として27事例を選定>

サービス産業生産性協議会では、イノベーションや生産性向上に役立つ先進的な取り組み(ベストプラクティス)の表彰・公表を通じ、企業の一層の取り組みを喚起し優良事例を広く普及・共有することで、サービス産業全体のイノベーションや生産性向上に努めるために「ハイ・サービス日本300選」を実施しています。このたび、第8回表彰として27の企業・団体を別紙の通り決定しました。いずれの企業・団体もチャレンジ精神を持ち、創意と工夫でイノベーションと生産性向上を実現しています。

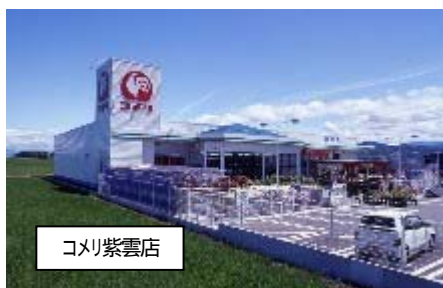
これらの取組をご紹介する機会として、1月26日(火)11:00より、KKRホテル東京(千代田区・竹橋)において表彰式を開催いたします。是非とも取材にお越しく下さい。

<選定委員(プレゼンター:予定)>

委員長 村上輝康 野村総合研究所シニア・フェロー

委員 伊藤元重 東京大学大学院教授 / 小林英俊 日本交通公社常務理事 / 野原佐和子 イグシ・マーケティング研究所代表

橋本和仁 東京大学大学院教授 / 藤川佳則 一橋大学大学院准教授 / 藤沢久美 ソフィアバンク副代表



コメリ紫雲店

事例 <株式会社 コメリ(ホームセンター)>

取扱商品の個性化と物流・情報システム最適化で、効率性の高い店舗展開

大規模雑貨スーパーとしてのホームセンターではなく、住宅設備と農業機材に取り扱い商品を個性化。物流センターによる一括納入・検品の実施でコストを削減し、小商圏を面で押さえるドミナント出店、物流・情報システムとの連携で高い成果を得ることで、地域での知名度向上と店舗管理の効率化、同業他社との差別化に成功した。

事例 <株式会社 オオクシ(理美容室)>

顧客データの収集・分析により、サービスレベルとリピート率向上を実現

POS レジ活用や顧客アンケートの実施によって顧客データを収集・分析するとともに、担当スタッフ、顧客の特性、利用サービスメニューごとにサービスの「見える化」を行い、スタッフ個々の課題発掘と、スタッフ1人1人に合わせたサービス向上への課題設定や育成を行うことで、サービスレベル・CS向上と、84%という高いリピート率を実現した。



男女を問わずリーズナブルで質の高いカットを提供する「カットオンリークラブ」

添付資料

1. 「ハイ・サービス日本300選」について
2. 「ハイ・サービス日本300選」第8回受賞企業・団体
3. 「ハイ・サービス日本300選」第8回受賞企業・団体プロフィール

サービス産業生産性協議会(代表幹事:牛尾治朗・ウシオ電機(株)代表取締役会長)は、サービス産業のイノベーションや生産性向上に向けた国民運動を展開する母体として、産業界、大学関係者、関係省庁などの幅広い参加のもと、平成19年5月10日に設立されました。

【お問合せ先】 サービス産業生産性協議会事務局(担当:下村、齋藤、山野)
〒105-0003 東京都港区西新橋 1-6-15 愛光ビル8F(財)日本生産性本部内)
tel:03(5251)3841 fax:03(3593)8450 <http://www.service-js.jp> Mail:M.Shimomura@jpc-net.jp